

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社栄電子

コード番号 7567 URL <http://www.sakae-denshi.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 隆志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 菊池 隆之

TEL 03-6385-7240

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	4,378	55.8	186	310.1	181	371.1	73	168.1
22年3月期第3四半期	2,809	△35.2	45	—	38	—	27	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	14.50	—
22年3月期第3四半期	5.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	6,771	2,794	41.3	549.79
22年3月期	6,432	2,738	42.6	538.71

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 2,794百万円 22年3月期 2,738百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期	—	0.00	—		
23年3月期 (予想)				10.00	10.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,515	34.2	141	16.5	137	24.6	72	10.8	14.17

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、[添付資料]P.4 2.その他の情報をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 _____）、除外 一社（社名 _____）
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期3Q	5,090,000株	22年3月期	5,090,000株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	7,120株	22年3月期	7,120株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期3Q	5,082,880株	22年3月期3Q	5,082,880株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、[添付資料]P.3 (3)連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第3四半期連結累計期間】	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国を中心とした新興国経済の需要が堅調に推移したことを背景に、輸出や生産活動の持ち直しの動きと設備投資の下げ止まりなど緩やかな回復基調が続いておりましたが、秋口以降、ヨーロッパの金融・財政不安に起因する為替の円高傾向に加え、欧米の景気減速の影響やデフレの進行、低迷する雇用情勢の長期化で自律回復の動きは弱く、景気の先行きが不透明な中で推移いたしました。

当社グループの主力市場である半導体製造装置関連分野におきましては、アジアを中心とした海外の需要は引き続き好調であるものの、上半期の好調な伸びに比べやや減速傾向となっております。国内においては、景況の不透明感から設備投資の冷え込みや在庫調整の影響を受け、受注は伸び悩み、市場環境は足踏み状態で推移しております。

こうした中、当社グループは新経営体制の下、引き続き営業基盤の強化を優先課題に取り組み、電源営業部の新設、新商材の発掘、LED及びエコ関連の新市場進出を目指し、当社初となります展示会に出展するなど経営資源の再構築を行っております。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結業績は売上高4,378百万円、営業利益186百万円、経常利益181百万円、四半期純利益73百万円という結果になりました。

なお、前年同四半期連結累計期間と比較して、売上高は1,568百万円増加、営業利益は140百万円増加、経常利益は143百万円増加、四半期純利益は46百万円増加となっております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、6,771百万円と前連結会計年度末に比べ339百万円増加いたしました。流動資産は主に受取手形及び売掛金が増加したことから前連結会計年度末に比べ393百万円増加、固定資産は主に投資有価証券の減少により53百万円減少いたしました。

負債は3,976百万円と前連結会計年度末に比べ282百万円増加いたしました。主に支払手形及び買掛金が前連結会計年度末に比べ274百万円増加し、長期借入金が45百万円減少したことによるものです。

純資産は、利益剰余金の増加により前連結会計年度末に比べ56百万円増加し2,794百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、当第2四半期連結会計期間末に比べ77百万円減少し、1,178百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は150百万円(前年同四半期は126百万円の収入)となりました。これは主要因として税金等調整前当期純利益165百万円、売上債権の増加486百万円、仕入債務の増加274百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は11百万円（前年同四半期は30百万円の支出）となりました。これは主要因として保険積立金積立による支出9百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は82百万円（前年同四半期は82百万円の支出）となりました。これは主要因として借入金の返済による支出71百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月17日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（平成23年2月10日）発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

当第3四半期連結会計期間末の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価格を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①賞与引当金の計上基準

従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち、当四半期連結累計期間における負担分を計上しております。

(追加情報)

従来、従業員に対する賞与の未払額については、流動負債その他(未払費用)に含めて表示しておりましたが、賞与支給額の決定方法の見直しを行った結果、四半期連結財務諸表作成時において賞与支給額の確定が困難となったことから、第1四半期連結会計期間より、賞与引当金として表示しております。なお、前連結会計年度において、従業員の賞与の未払金額はありません。

②「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

なお、これによる損益に与える影響はありません。

③「連結財務諸表に関する会計基準」の適用

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,478,361	1,723,586
受取手形及び売掛金	1,745,960	1,261,323
商品	424,161	274,971
繰延税金資産	328,910	322,723
その他	10,952	13,747
貸倒引当金	△2,912	△3,930
流動資産合計	3,985,433	3,592,421
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	715,820	743,460
土地	1,170,924	1,170,924
その他(純額)	15,464	18,172
有形固定資産合計	1,902,208	1,932,557
無形固定資産	121,803	115,499
投資その他の資産		
投資有価証券	250,720	292,559
保険積立金	467,132	457,161
その他	77,407	73,752
貸倒引当金	△33,604	△31,903
投資その他の資産合計	761,656	791,569
固定資産合計	2,785,669	2,839,625
資産合計	6,771,103	6,432,047
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,536,784	1,262,338
短期借入金	1,000,000	1,010,000
1年内返済予定の長期借入金	80,000	96,000
リース債務	4,251	2,385
未払金	799,005	797,051
未払法人税等	35,017	13,836
賞与引当金	12,348	—
その他	51,707	51,157
流動負債合計	3,519,115	3,232,768
固定負債		
長期借入金	260,000	305,000
リース債務	14,243	8,439
退職給付引当金	17,514	20,448
長期未払金	110,827	119,624

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
長期預り保証金	282	282
繰延税金負債	54,612	7,301
固定負債合計	457,481	461,096
負債合計	3,976,596	3,693,865
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	372,500	372,500
利益剰余金	1,902,358	1,828,669
自己株式	△3,587	△3,587
株主資本合計	2,771,270	2,697,581
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	26,569	44,925
繰延ヘッジ損益	△3,333	△4,324
評価・換算差額等合計	23,235	40,600
純資産合計	2,794,506	2,738,182
負債純資産合計	6,771,103	6,432,047

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	2,809,936	4,378,873
売上原価	2,287,225	3,569,880
売上総利益	522,711	808,993
販売費及び一般管理費	477,309	622,805
営業利益	45,401	186,188
営業外収益		
受取利息	1,470	516
受取配当金	4,281	5,084
不動産賃貸料	3,341	2,550
仕入割引	3,111	5,019
その他	3,259	4,546
営業外収益合計	15,465	17,717
営業外費用		
支払利息	19,893	17,199
不動産賃貸費用	1,908	1,829
その他	505	3,209
営業外費用合計	22,307	22,238
経常利益	38,560	181,667
特別利益		
貸倒引当金戻入額	557	—
特別利益合計	557	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	15,684
固定資産除却損	699	—
特別損失合計	699	15,684
税金等調整前四半期純利益	38,418	165,982
法人税、住民税及び事業税	3,353	41,236
法人税等調整額	7,581	51,056
法人税等合計	10,935	92,293
少数株主損益調整前四半期純利益	—	73,689
四半期純利益	27,483	73,689

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	38,418	165,982
減価償却費	36,801	34,105
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,925	683
固定資産除却損	699	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	12,348
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△5,731	△2,933
投資有価証券評価損益(△は益)	—	15,684
受取利息及び受取配当金	△5,751	△5,601
支払利息	19,893	17,199
売上債権の増減額(△は増加)	△216,518	△486,569
たな卸資産の増減額(△は増加)	39,553	△149,189
仕入債務の増減額(△は減少)	206,010	274,446
未払消費税等の増減額(△は減少)	13,790	△11,479
その他の流動資産の増減額(△は増加)	36,755	800
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△22,012	15,354
その他	5,397	△2,765
小計	144,380	△121,933
利息及び配当金の受取額	6,232	6,623
利息の支払額	△18,688	△16,157
法人税等の支払額	△5,702	△19,199
営業活動によるキャッシュ・フロー	126,222	△150,667
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,177	—
投資有価証券の取得による支出	△808	△575
保険積立金の積立による支出	△9,971	△9,971
関係会社出資金の払込による支出	△13,016	—
差入保証金の回収による収入	11,846	152
長期貸付金の回収による収入	1,200	—
その他	△9,995	△1,348
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,922	△11,742
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	400,000	100,000
短期借入金の返済による支出	△400,000	△110,000
長期借入金の返済による支出	△71,440	△61,000
リース債務の返済による支出	△799	△1,947
配当金の支払額	△451	△339
その他	△9,527	△9,527
財務活動によるキャッシュ・フロー	△82,218	△82,814
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	13,081	△245,224
現金及び現金同等物の期首残高	1,243,072	1,423,586
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,256,154	1,178,361

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。